

## 1 水練池

【国指定史跡】

藩政時代、遊泳術や水中騎馬が行われた。水源は地下水で、深さは1.5mある。藩校の水練池でわが国に現存する唯一のものである。



## 2 聖賢堂

【市指定有形文化財】

聖廟前、観徳門の左右にあった東塾・西塾の遺構。両塾を合わせて一棟とし東田町の阿呼社境内に移築されていたが、大正7年に現在の位置に移された。



## 3 楷の木

ウルシ科の木で、毒はない。春に黄白色の花が咲き、秋になると葉が深紅色に染まる。孔子の墓所に植えられたことから別名「孔木」と呼ばれる。



会津藩校日新館が中国曲阜にある孔子廟の種子を貰い受けたものを育苗し、共に儒学を教育の基本としていたことから贈られた。

## 4 南門

【市指定有形文化財】

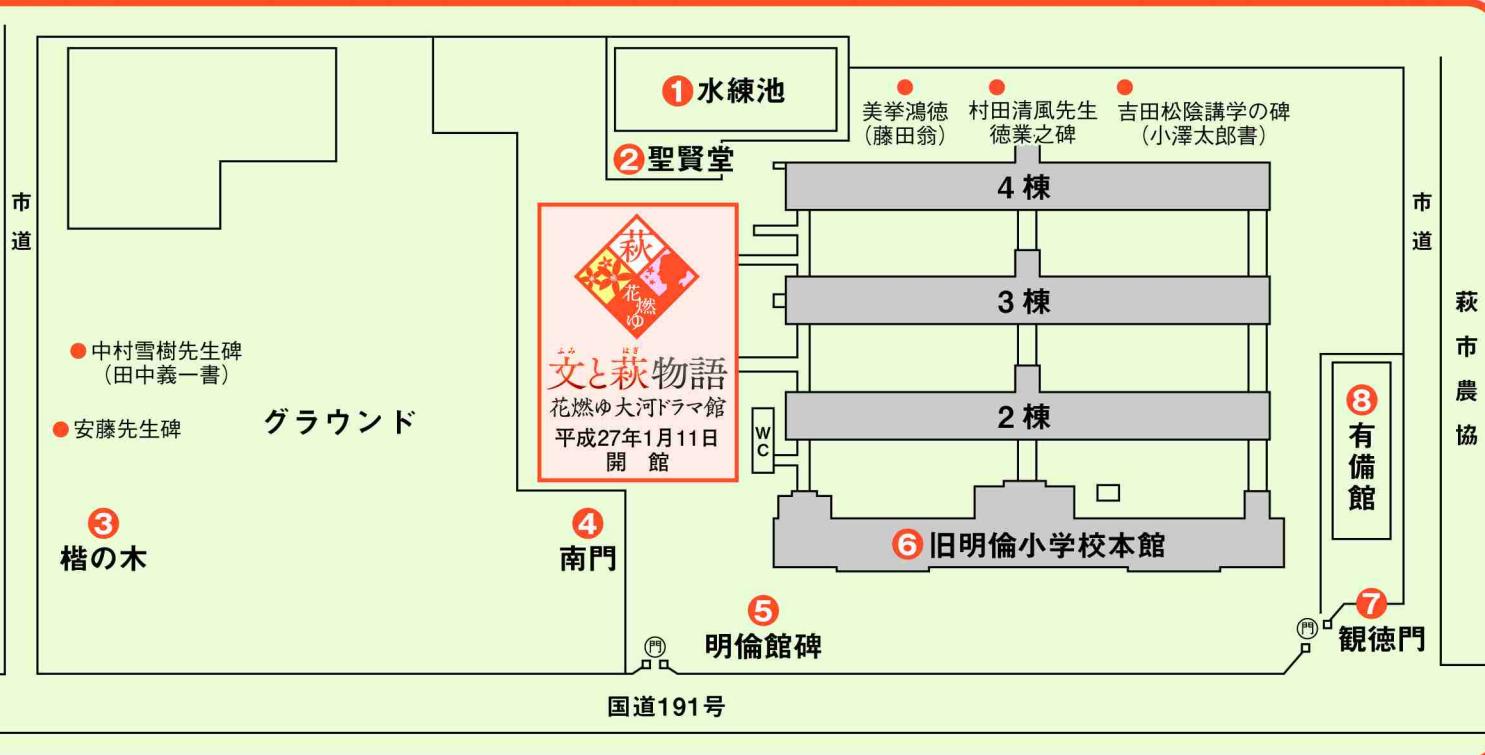
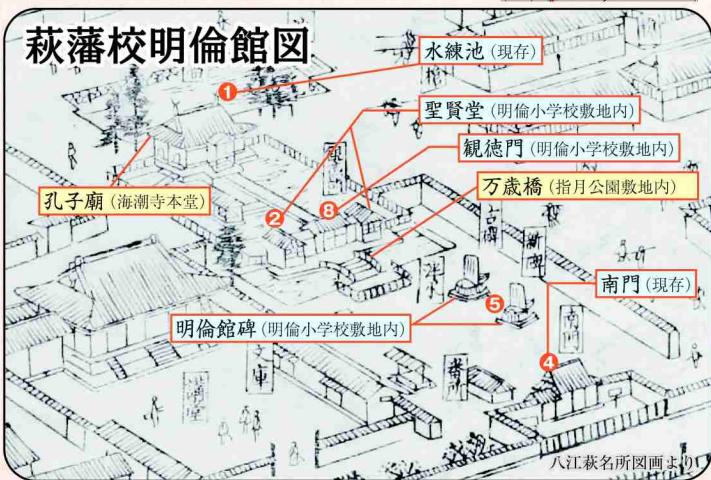
藩主が聖廟を拝する春秋の「秩葉(孔子祭)」や公式行事以外は開かれなかった。本願寺山口別院に移され正門となっていたが、寄付され平成15年に元の位置に移築された。



# 旧萩藩校明倫館マップ。



萩藩校明倫館は、1718年に5代藩主吉元が毛利家家臣の子弟教育のために堀内に建てた藩校です。それから約130年後、1849年に現在地(江向)に拡大移転しました。約5万m<sup>2</sup>もの敷地内に学舎や武芸修練場、練兵場などがあり、吉田松陰はここで兵学を教えていました。創設より1867年廃館に至るまで、前後約150年の長期にわたって藩校としての教育が行われました。



## 5 明倫館碑

【国指定史跡】

(左側)

1741年6代藩主毛利宗広が創立の由来を伝えるために建てた。

(右側)

1849年13代藩主毛利敬親が新明倫館の開校を記念して建てた。幕府に対する忠心を意味する箇所が削られた跡がある。



## 文と萩物語 花燃ゆ大河ドラマ館

平成27年大河ドラマ「花燃ゆ」のドラマ館として、平成27年1月11日より平成28年の1月10日まで、萩市の新たな観光スポットとして開館いたします。

大河ドラマで実際に使用された小道具や衣裳の展示、ロケメイキング映像の上映、ストーリーやキャスト紹介のパネル等の展示、さらには松下村塾セット展示や記念撮影ポイントなど、大河ドラマの世界観を存分に体験していただきます。

- 会館期間 平成27年1月11日(日)~平成28年1月10日(日)
- 会館時間 9時~17時(最終入場16時30分)
- 料 金 前売り 大人400円・小中生160円  
当 日 大人500円・小中生200円



## 8 有備館

【国指定史跡】

北半分は板の間39畳の剣術場、南半分は土間54畳の槍術場がある。他国修行者引請剣槍場であった。



## 7 観徳門

【市指定有形文化財】

孔子を祀った聖廟の前門。当時、南門と聖廟との間に位置し、万歳橋を渡り、聖廟を巡らす石柵内への入口になっていた。本願寺萩別院に移されて客殿門となっていたが、昭和57年に現在の場所に移された。



## 6 旧明倫小学校本館

【国登録有形文化財】

山口県第1号】隣接する史跡有備館に合わせた意匠で、外壁は1階部分は簾子下見板張り、2階部分は白漆喰塗りである。屋根のフランス瓦や連続する窓の意匠が特徴的で、モダニズムへの萌芽も見られる。既にほとんど失われてしまった木造学校建築の好例。

